

京都 便利堂 だより

KYOTO
BENRIDO
DAYORI

2025 VOL.21
9/10
中秋号

アートのある暮らしで彩りを

便利堂ものづくりインタビュー

法隆寺金堂壁画プロジェクト

壁画原寸大撮影90周年記念●便利堂五代目・石黒豊次さん



【特集】

新商品&季節のおすすめ

芸術の秋に、アートな贈り物／年賀はがき
京都はん／美術はがきソムリエからの定期便シリーズ

日本文化の美とともに
歩み続けて139年



アートのある暮らし

●ふせん

日々の生活に美術を取り入れることは暮らしに彩りを与えてくれます。便利堂では、古典の名作から現代の作品までさまざまな美術作品をモチーフとしたアイテムを取り揃えています。毎号その中から、おすすめをピックアップして美術商品と暮らし日常風景をご紹介します。

日々のやりとりはスマホ上でのメッセージが大半となつて久しい今日のごろ。「スマホ指」なる腱鞘炎があることも最近知りました。みなさまもどうぞお気を付けてください。さて。

メッセージを送るとき、私たちはよく動物のスタンプを使います。猫がのびをしたり、蛙が蹶つていたり。ときには、言葉は省略してしまつて、スタンプだけでやりとりすることも。押すだけで、へわかるよへだいじょうぶと、言葉以上に気持ちが伝わる瞬間があります。

そんな「気持ちの記号」としての動物を、江戸の絵師たちも描いていました。無類の猫好きとしても知られる歌川国芳の猫は、お膳を前にへいたいただきますと言わんばかり。「略式図」という対象をシンプルに簡略化した描線

で表現した鰐形蕙斎の虎は、どう猛というよりへよろしゅうにと低姿勢。まるで、時代を超えたスタンプがそこにいるかのようです。

そんな動物たちが、へふせんになつて手のひらに舞い戻ってきました。デスクトップや手帳の片すみに、冷蔵庫の買い物リストに、だれかへのお菓子のおすそ分けに。ぺたりと貼ってみてください。動物たちがくすつと笑えるポーズでひよつこりと現れます。やることばかりの1日にも、猫や虎、蛙や兎がひよいと顔を出すだけで、ほんの少し、肩の力が抜けるはず。

人気アイテムへ日本の美術 ふせんシリーズに、鰐形蕙斎のへ鳥獣略画式が新登場！ 日常のふとしたすき間に日本美術のユーモアをしのばせる、京都便利堂ならではのふせんです。



日本の美術シリーズ ふせん
全4種 ¥550

手帳や本に挟めば可愛くモチーフが飛び出します。3サイズのふせんがセットになっていて、様々な使い方が可能です。文字が読みやすく、アイキャッチにもなるベース色も◎。二つ折りになった台紙は、手帳カバーに差し込んで使っていただけます。



本誌に記載された表示価格は、すべて税込です。

折々の絵はがき

《婦女四題 秋》山川秀峰
昭和2年 千葉市美術館蔵

女性は一人でお出かけ中でしょうか？ 人々が思わず振り返るほどの輝きを放つ彼女からは、胸の内で鼻歌を歌っているような「ご機嫌さ」が滲み出ています。好きな服とメイクがうまくいけば街を歩くだけでもなんだか楽しい。本作からは女性のそんなうきうきした気持ちが伝わってきます。

独特の髪型は、三つ編みやねじったツインテールを耳が隠れるようにクルクルと巻いた「ラジオ巻き」。日本でラジオ放送が始まったこの頃、鉾石ラジオのレシーバーを耳に当てる様子を模した最新トレンドです。整った目鼻立ちに唇に差した秋色の紅がよく映えて、ワイン色のショールからちらりとのぞくのはトランプ柄の羽織です。それはまるで舞い落ちる枯れ葉が、ダイヤやスペードに姿を変えたかのようです。赤い刺繍の着物に、帯も帯締めも個性的で、ともすれば取り留めなくなりそうなところ、襟元と帯の黒で見事に統一感を出しています。

山川秀峰は鎬木清方に学んだ日本画家で、美人画で知られるほか、本作のような新版画の作品も遺しました。鎬木門下では百貨店の流行カタログなども描いており、こちらもそうした1枚かもしれせん。流行のファッションを粋に着こなす彼女をさぞかし多くの女性が憧れのまなざしで見つめたはずで



表紙の絵はがき：
絵はがき《婦女四題 秋》
山川秀峰 ¥110



京都便利堂 だより

2025 VOL.21

9/10
中秋号

CONTENTS

アートのある暮らし 02

便利堂ものづくりインタビュー
法隆寺金堂壁画プロジェクト 04

季節のごあいさつ② 10

美術はがきソムリエからの定期便 11

新商品&季節のおすすめ 12

Information 16

2025年 企画・制作・発行 株式会社便利堂
9月1日発行 Director 鈴木 巧
(奇数月発行) Chief Staff 西川 愛
Staff 増尾麻黄 / 渡邊 葵 / 小川朝永

※本誌記載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。

写真：山内崇誠（便利堂写真工房）

法隆寺金堂壁画

プロジェクト

●石黒豊次さん

手ごろな商品を通じて美術をより身近に親しんでいただきたい――。企画・デザインから制作まで、妥協のない姿勢で取り組んでいる便利堂のものづくりの裏側を、作り手の声でご紹介していきます。

本年は便利堂のものづくりを象徴するプロジェクト「法隆寺金堂壁画原寸大撮影事業」が行われてからちょうど90周年を迎えます。そこで今回は趣向を変え、この事業を担当し、後に便利堂6代社長を務めた、故石黒豊次さんが残した記録を元に、インタビュー形式で当時を振り返りたいと思います。

聞き手・社長室 前田千穂

石黒豊次さん（1907～2001）
慶應義塾大学経済学部中退後、便利堂4代中村竹四郎の妻・泰子の紹介で昭和8年に便利堂に入社、本社営業部に配属。昭和10年から始まる法隆寺金堂壁画原寸大撮影並びに原寸大複製を担当する。昭和25年取締役、昭和47年常務就任。昭和49年より非常勤取締役となっていたが、翌年便利堂5代中村桃太郎が急逝したため、急遽同年第6代社長に就任。昭和58年に桃太郎長女・堯子が7代目就任するまで代表を務める。



昭和49年、ゲーテンベルグ博物館へ寄贈する壁画複製を確認する石黒さん（中央右）と桃太郎社長（その左）

――今日はわざわざ天上からお越しくださりありがとうございます。
いつも皆さんのご活躍を拝見しています。来年初創140年とのことですが、頑張つて続けてもらつていて物故者OBみんな喜んでるよ。

――そう言つていただいて嬉しいです。早速ですが、便利堂の歴史の中でも屈指の大事業、「法隆寺金堂壁画原寸大撮影」が昭和10年（1935）に行われてから、本年度90周年となりました。この事業をご担当された石黒さんにぜひお話が聞きたいと思ひまして。このプロジェクトはどんな経緯で始まつたのですか？

そもそも、金堂壁画の保存が問題に

――ここが複製の出発点ですね。

今から1世紀以上前に、複製に対するちゃんとした考え方が生まれたんですね。そして法隆寺の指定建造物すべてを修理をする「法隆寺昭和の大修理」が、昭和9年（1934）から国家事業として半世紀にわたつて始まるんだけど、その際、壁画保存問題も再び焦点となつてね。そこではまず精密な写真で現状を記録しようということになつて便利堂に委嘱されたんだよ。

――便利堂の技術を評価していただけて光栄なことです。

ただ、その内容がとてつもないものでね。当時はまだ写真のフィルムは「ガラス乾板」といって、ガラス板に感

便利堂 ものづくり インタビュー

空想

【第21回】



白衣姿の石黒氏（前列右）と助手4名

法隆寺中院前。昭和10年（1935）8月
石黒氏は当時入社3年目。これから金堂へ出勤する前の記念の一コマ（画像はAIによるカラー再現）

『法隆寺壁画保存方法調査報告書』

大正9年（1920）3月31日発行
4年にわたる調査と保存方法の検討をまとめた報告書。原本保存において「完全なる副本」の重要性を指摘し、その後の模写・複製制作を方向づけたと言える

『報告書』結論より該当部分の大意

「壁画の複製制作もまた原本の保存事業と非常に関係がある。いくら補修補強が実施され防火設備が完成しても、いつ壁画が不慮の天災で被害を受けるかもしれない、日本の至宝である本壁画が完全な複製を持たないということは、壁画の価値を尊重するという意味において完全とは言えない。現在、彩色の剥落などの劣化が進んでいるが、まだ十分にその彩色を見分けることができる今こそ、現物の根本的保存法の実施とともに複製を制作することができれば、すなわち壁画を保存しようという精神を完徹することが可能となるのである」

なつたのは、明治30年（1897）に施行された「古社寺保存法」から。明治初期に巻き起こつた、いわゆる「廃仏毀釈」という自国の文化を破壊するムーブメントの揺り戻し、反省からこの法律ができたんだけど、まだ「文化財」という言葉もなく、概念も発展途上だったこの時代、こうした歴史的器物の中核は仏教美術だったんだね。寺を護ること、寺に伝わる宝物を護ること、すなわちそれが日本の文化を護り伝えることであり、そしてその嚆矢はやはり法隆寺の金堂壁画。海外の良質なガラス板を輸入し、それで壁画を保護しようという計画もあったけど、一部の実施だけで結局頓挫しちゃつてね。

――それからどうなつたんでしょう？
大正2年（1913）、岡倉天心が改めて壁画保存の緊急性と調査機関設置の必要性を建言して、古社寺保存会長の九鬼隆一が文部大臣に建議、ようやく大正5年（1916）に「壁画保存方法調査委員会」ができたんだよ。そこで大正8年までの4年間にわたり、壁画の壁そのものの構造の調査や破損状況の調査、剥落の状況や使用顔料の性質などが研究されました。

――あくまでも「保存方法の調査」が目的なんですね。

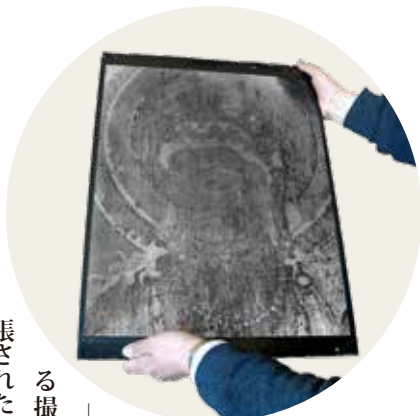


下：法隆寺金堂（国宝） 上：同内部

内陣には中尊・釈迦三尊像、薬師如来坐像、毘沙門天・吉祥天立像、四天王立像（いずれも国宝）、外陣には現在、昭和43年に完成した「再現壁画」（便利堂によるコロタイプの墨刷の上に精鋭の日本画家が彩色）が荘厳されている



壁画原寸大撮影風景（昭和10年夏）
全12壁を撮り終えるのに6人がかりで8月1日から10月15日まで75日を費やした
（画像はAIによるカラー再現）



当時はまだカラーフィルムがなく白黒フィルムでした

——— 撮影はどのように進められたのですか？

光剤が塗られたものを使っていったんだけど、その中でも「全紙」という約46×56センチもある最大サイズの乾板を使って原寸大で分割して撮影するという、当時はもちろん、現在に至るまで世界でも類例のない前代未聞の撮影事業だったんだからね。

——— 全く初の試みなんですね。

この全紙サイズのガラス乾板は、イギリスのイルフォード社に発注したんだけど、50ダースという発注量を聞いて、「間違いは？」と照会があったほどだから（笑）。そんな特大サイズの特等なフィルムを600枚も頼んだのは、後にも先にも便利堂だけだろうね。

前年の昭和9年の夏にテスト撮影が無事成功したのでプロジェクトスタートとなりました。本撮影は翌年の8月1日から行うことが決まってね、そこから準備におおわらわだったよ。

確かに、経験豊富な便利堂の写真技師とはいえ、狭い金堂内部での原寸大撮影となるとこれまでにない準備が必要だったでしょうね。

まず世の中に全紙用の原寸大撮影カメラなんてないからね。特別製の写真装置を一から設計して作らないといけ

そんな特大サイズの特等なフィルムを600枚も頼んだのは、後にも先にも便利堂だけだろうね。

壁画原寸大撮影原板（コロタイプ原版：重要文化財）

原寸大の撮影は、全12壁で363枚に達した。金堂の火災によって壁画が損傷してしまった現在、この原板は当時の壁画の状況を伝える唯一無二の存在として高く評価され、平成27年（2015）に国の重要文化財に指定された

私はまだ入社3年目で、こんな大役、緊張したね。まず早朝に修理事務所へ集合。メンバーは六櫻社から技師3名、便利堂からは技師長の佐藤浜次郎、補佐の技師に辻本米三郎、ほかに助手4名、営業部からは私ともう一人。法隆寺から「壁画の魂抜の法要をするから撮影に関係する者は全員金堂へ集まってほしい」と連絡がありました。法要は午前中いっぱいだったかな。その後、私たちは用意してきた白衣に着替えて、第6号壁（西方大壁）の前に枠の組み立てを始めました。

原寸大撮影装置（模型）

柱間に壁画と等大の枠を立てて、その枠に取り付けた写真機が枠のなかで上下左右、自由に移動できる仕組み。この稀代の撮影事業を後世に伝えるべく、便利堂・六櫻社によって模型が制作され法隆寺に寄贈された

——— いよいよ始まりますね。

6号壁の枠の組み立てだけで5日かかったね。で、この撮影のために250ワット電球10個を配電しておいたんだけど、手元を明るくするつもりで2、3球つけてみたらね、6号壁の本尊や脇侍菩薩の線がくつきりと浮かびあがって：それは本当に崇高な美しさで感動したよ。それと同時に、これから何日かにわたってこの壁画と取り組んで仕事をすることの重大な意義を感じ、改めて勇気を奮い起こしたのが、昨日のことのように思い出されるね。

——— 光景が目には浮かびます。なんとも始まりにふさわしい出来事ですね。

普段は薄暗い堂内にあって遠巻きにしか見ることのできない壁画だけど、



当時撮影で使った照明傘

こうして光の下で見ると、壁画の画面は蜘蛛の巣だらけ。ふと壁画の下を見ると、たくさんの顔料が剥がれ落ちて、いるのに気が付いてね。それを丹念に羽ばうきで掃き集めておいたよ。

——— そう聞くと保存が急務だったことがうかがえます。その後、撮影は順調に進んだのでしょうか？

いろいろあったね。枠の組み立てのあと、ピント合わせに2日、ようやく撮影が始まったのが8日です。この日は終日を費やして6号壁44枚の撮影を終えました。こんなに手間取ったのは最初の壁だということもあったけど、やはり後から写真を並べた時に、ちゃんと繋がるように撮れていないといけないからね、どうしてもピント合わせに時間がかかるんだよ。

——— 撮影は何日くらいかったのですか？

香煙で煤けて絵が見えにくくなった壁画は別に赤外線写真も撮るという具合で、どんどん撮影は長引いてね。こんな調子だから、8月1日から始まった撮影は予定を1カ月以上延長して、ようやく10月15日に終了しました。

——— 75日間！ 2ヶ月半ですか。大壁4面を各42分割（縦6×横7）、小

——— 途方もない数ですね。

撮影後、プリントを3組作って文部省へ納入して事業は無事完了と思ったところ、翌昭和11年早々に「写真プリントは経年変化で劣化する恐れがあるのでコロタイプで複製をつくれなにか」と新たなお題をいただいてねえ。

——— プロジェクトの第2フェーズです。

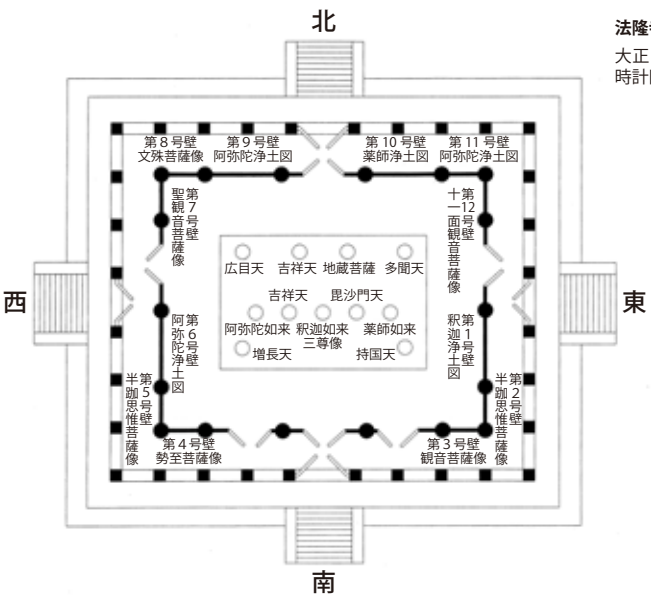
コロタイププリントをするためには、撮影原板のガラス板から感光剤を塗ったゼラチン層（膜面）を剥離し、反転して再度ガラス板に貼り付ける「膜面返し」という製版作業が必要なんだけどゼラチンはご存知のようにそれ自体は柔らかいフワフワ伸び縮みするもの。ただでさえ貼り替えるのは技術を要するの、今回は全紙サイズという超大判、しかもつなぎがピッタリ合うように精度を合わせた原板です。膜面返し作業で少しの狂いも許されません。

——— またもや超難関です！

さいわい予備として撮った原板が何枚もあったのでそれを使って膜面返しのテストを行いました。なんとか伸縮も抑えられ、自信のついたところで、

法隆寺金堂内陣壁画配置図

大正9年の『報告書』の表記に準じて、東方大壁から時計回りに第1号壁から第12号壁と呼ばれる



この壁画と取り組んで仕事をする事の重大な意義を感じ、改めて勇気を奮い起こしたのが、昨日のこのように思い出されるね。



収蔵庫に保管されている焼損壁画

法隆寺、文化庁、朝日新聞社の主導による、壁画の保存活用を有識者らが調査・研究をする「金堂壁画保存活用委員会」が平成27年12月に発足、課題の一つであったその一般公開への取り組みが「法隆寺みらいプロジェクト」として今年より本格化



法隆寺みらいプロジェクト

※荒井・中村・橋本の3班は原寸大コロタイプ印刷された和紙の上に胡粉を塗り彩色していく手法をとり、入江班はコロタイプの上に和紙を置いて上げ写する方法で模写された

れた事例はあったんだけど、今回目指すのは「精巧な副本」。人の手による模写だとしても主観が入り精密さに欠けるというその課題をクリアするために活用されたのが、このコロタイプ複製です。薄く刷ったコロタイプの上に当時の著名な日本画家が現物を前に正確に着彩していったんだよ。

——写真の正確さと、人間の目と手の融合による複製ですね。

戦争をはさむ10年間にわたって、過酷な環境下で模写作業は続けられたんだけど、この模写作業中の昭和24年（1949）に火災が起り、残念なことには壁画が焼損してしまっんですね。

——想定されていた最悪の事態が現実のものとな

ってしまいました。

日本の文化財保存の歴史の中で忘れることのできない出来事だね。でも不幸中の幸いというか、原寸大撮影の時に、便利堂の判断



本番の印刷作業（昭和12年秋頃 於大雲院内臨時作業所）



表装作業（昭和13年秋頃 於大雲院内臨時作業所）



壁画複製に使用した印刷機（本社ロビーに展示）

まず紙は越前の雁皮紙を特注。インキは、従前はフランス製を使用していましたが、佐藤さんはわざわざインキ会社へ出向き、「将来に残る美術品としては国産品を使用したい」と訴え、その熱意に動かされたインキ会社が新たにコロタイプインキを開発してくれることになったね。技術者の苦心と努力のおかげで、輸入品に遜色のないインキ30キロが便利堂へ納品されたんだけど、その手間ひまを金額換算することは困難ということで「歴史に残る国家的事業」への貢献としてインキは寄贈してくれることになったんだよ。

——胸が熱くなるお話ですね。

なにしろ大きな壁画が12壁もある複製作業だから、当時寺町四条にあった大雲院の大広間をお借りしてね、臨時の専用作業所にして、そこで印刷作業と表装作業を行ってましたよ。

——何から何まで特別仕様ですね。

昭和12年の夏に原寸大コロタイプ複製のプロトタイプ全12壁が完成して、お歴々方にご確認いただいてね。OKがでた時はホッとしたなあ。この時のプロトタイプが便利堂所蔵本で、今コロタイプギャラリーで展示しているね。

——この後、本番制作ですね？



こんな大事業だから文部省だけの予算だけでは足りなくてね、インキなんかも協力してくれたんだけど、それを気の毒に思ってくれた修理事務所など関係者のあつせんで、限定部数を頒布して少しでもコストの手当にしよう。最終的に20余組の複製を翌昭和13年に仕上げ、国内の大学や美術館・博物館、海外ではボストン美術館や大英博物館、ハーバード大学などへ無事に頒布することができて助かりました。

——ようやくこれで一段落ですか？

まだまだ、これからが本番だよ。原寸大のコロタイプ複製は精巧だけれどモノクロだから※。最終的には現物の色彩を記録したカラーの複製をね。そこで翌昭和14年から、「昭和の模写」事業が始まるんだ。壁画の模写による複製制作は、明治35年（1902）には意図されていたようで、先に触れた『報告書』でも明文化されている。これがようやく実現の運びになったということだね。もちろんこれ以前にも模写さ

※便利堂で多色刷コロタイプが開発されたのは昭和41年（1966）

いる壁画はこの「再現壁画」です。

——これらの撮影原板一式はその貴重さを評価され、平成27年（2015）に国の重要文化財に指定されました。

この原版がこれからも大切にされることになって感無量です。戦争中、大原の三千院へ苦勞して原版を疎開させたかいがあったよ。

——今年、金堂焼損壁画の一般公開を目指す「法隆寺みらいプロジェクト」（法隆寺、朝日新聞社）が発表されました。

こうした取り組みを通じて、文化財の保護や防災などの大切さが、これからも伝え続けられるように願っています。本当に素晴らしい取り組みですね。

——そして便利堂では、本社内のコロタイプギャラリーにて、原寸大撮影90周年を記念した「法隆寺金堂壁画原寸大複製全12面」展を好評開催中です（詳しくは本誌16頁）。

壁画が金堂内と同じようにうまく並べられていて感心したよ。複製だけでなく堂内にいるような儼かな落ち着いた心持ちになりますね。これからもこの複製の力を信じて、撮影やコロタイプの技術を続けていつて欲しいと思います。

※過去にメルマガで配信したインタビュのバックナンバーはこちら



『聖徳』9号、「金堂壁画原寸大写真原版賞書」石黒豊次（昭和32年3月号）を元に構成しました。

国際文通週間

10月6日から12日

「手紙なんてちよっとおかげさかな。」でも、感謝やお礼、ともに喜び合うお祝いの気持ちなど、ときには手書きではがきやメッセージカードにちよっと季節の言葉を添えて送ってみてはいかがでしょう。折々の季節のごあいさつをご紹介します。

国際文通週間とは

「世界の人々と文通によって相互理解を深め、世界の平和に貢献しよう」という世界的なキャンペーンが国際文通週間(International Letter Writing Week)です。昭和32年(1957)の第14回万国郵便連合(UPU)大会議で決まり、日本では毎年10月6日〜12日を国際文通週間と定めています。記念切手も発行され、今年は歌川広重「東海道五十三次」や葛飾北斎「富嶽三十六景」など浮世絵作品が選定され、大人気のシリーズとなっています。

万国郵便連合(UPU)とは

万国郵便連合が組織されたのは明治7年(1874)。仏独による普仏戦争のあと、スイス・ベルンで開催された国際会議で、国際郵便に関する批准条項(ベルン条約)が調印、国際総合機関としてUPUが設置されました。以降、以下の点が加盟国間で合意運用され続けています。

①ほぼすべての地域から固定料金に近い形で郵便物が送れること。②国際郵便、国内郵便がともに同様の扱いがなされること。③国際郵便料金は、それぞれの国で徴収し、どの加盟国の切手でも国際的に通用すること。まだ飛行機も無かった時代に、地球規模の枠組みが作られ、料金や扱いの統一が図られた事の先見の明たるや…これこそ真のグローバル化ですね。

海外にお便りはいかが

当店には日本らしい美術はがきを求めて海外からのお客様が沢山お越しです。お土産だけでなく実際に日本からの国際郵便に使われる方も。旅先からのお便り文化は、海外でも根強く残っているのだなど実感します。せっかくの国際文通週間、久々に海外の友人家族にエアメールはいかがでしょう?「Via Air Mail」と緊張して書き込んだ、あの懐かしさにきつと心が踊るはずですよ。

※UPU(Union postale universelle)

エアメールの宛先の書き方

差出人(自分)は左上に、宛先(相手)は右下に書きましょう。「航空便」を示す「VIA AIR MAIL」や「PAR AVION」を書き添えることをお忘れなく。



Season Greetings vol.21



【カードの文例】

フランス国立ギメ東洋美術館
幕末明治写真コレクション「茶」茶道

POSTCROSSING

ポストクロッシングにも最適

「ポストクロッシング」とは、会員登録すると送り先を自動で会員同士をマッチングしてくれるサービス。世界の誰かに手紙を送り、世界の誰かから手紙が届きます。エアメール送ってみたいけど相手がいない!という人もぜひ。

ポストクロ公式サイト



〈富嶽三十六景・神奈川沖浪裏〉
葛飾北斎
110円



〈京都はん〉
茶の湯はん
1,320円



日本らしい美術はがきが沢山!

琳派—継承の美

毎月ふみの日に届く●「美術はがき」のある暮らし

美術はがきソムリエからの定期便 第3弾

半年間6回お届けのミニシリーズ!

美術はがきソムリエ 増尾麻黄



9月 9月15日までのご注文(9月23日頃にお届け)

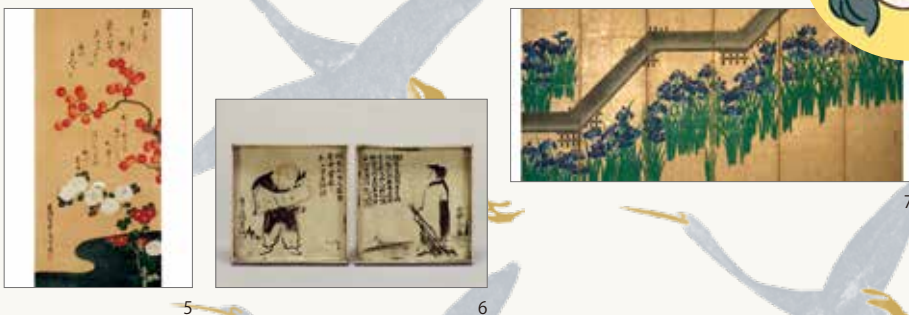
〈琳派の水墨 ~墨と筆の表現~〉



1 〈国宝 蓮池水禽図〉俵屋宗達 2 〈白蓮図〉酒井抱一
3 NEW 〈龍虎図〉俵屋宗達 4 〈竹虎図〉尾形光琳 ほか4作品

10月 10月15日までのご注文(10月23日頃にお届け)

〈花ひらく琳派 ~尾形光琳と乾山~〉



5 〈紅葉に菊流水図〉尾形乾山
6 〈鏤絵寒山拾得図角血〉尾形光琳画/尾形乾山
7 NEW 〈八橋図〉尾形光琳 ほか5作品

美術はがきソムリエ 安野美奈子



美術はがきソムリエの私たちが自信を持って選びました!

●今後のラインナップ

11月 〈受け継がれる意匠 ~草花図—変奏の系譜~〉
12月 〈江戸琳派 ~酒井抱一と鈴木其一~〉
1月 〈受け継がれる意匠 ~金と色彩~〉
2月 〈琳派の源流 ~本阿弥光悦と俵屋宗達~〉

※定期便第1弾とはすべて異なる商品を収録しています。
※内容は予告なく変更になる場合があります。

増…琳派の名作をご紹介します定期便第3弾、もうご覧いただきましたか? 秋にお届けする絵はがきたちを見てみましょう。9月のテーマは《琳派の水墨》、水墨といっても華やかさと、ささやかな愛らしさは欠かさないのが琳派。安…琳派というと金のイメージが強いですが、宗達も光琳も濃淡や滲みをふんだんに使った画面に堂々たる佇まいの…虎。どちらの虎もやはり所々に猫を感じてしましますね。増…凛々しい、けれどちよっと不機嫌?な感じが可愛いですね。続いて10月は《花ひらく琳派》、光琳と弟の乾山による合作をはじめ、ふたりが切り開いた琳派芸術をご紹介します。この号の長型はがきは尾形光琳の《八橋図》です。安…新作はがき、待ってました! 美しいです。増…是非飾って頂きたい1枚ですが、この絵はがきがポストに届いていたら感激しますよね。特典の文香とともにお使い頂くのも素敵です。

安…さらに今回も特典が盛りだくさん! 増…作品については特製ブックレットでもたっぷりお話ししていますので、是非お楽しみに!



美術はがきソムリエからの定期便

琳派—継承の美

定期便シリーズはこちらから!



●毎月〈ふみの日〉に絵はがき8枚を6ヶ月間お届けします。

●月々わずか1,000円(税・送料込)

■半年間6,000円: 月々1,000円(税・送料込) × 6ヶ月※

●今回も特典が盛り沢山!

- ①毎回、琳派の世界をやさしく解説した〈特製ブックレット〉付き
- ②全6回一括払いでのお申し込みの方にオリジナル文香(非売品)をプレゼント(先着100名様)



③さらにもれなく2大プレゼント

- ◆初回お届け月にオリジナル〈琳派年表・用語集〉
- ◆最終お届け月に、「抗ウィルス」「抗菌」「消臭」機能がある〈琳派柄PHONE STICKER〉(定価385円)をプレゼント

※途中解約はいつでも可能です。月々払いはクレジットのみとなります。
くわしくは専用サイトをご確認ください。

芸術の秋に、 アートな贈り物



いつも遠くから応援してくれている方々へ
帰省のおみやげに



ありがとうの気持ちをこめて
敬老の日に



マグネットフレーム 絵はがきセット

全 10 種 各 ¥8,690 ~ ¥9,350
簡単に入れ替えができるマグネット
フレームと人気の絵はがきセット
を組み合わせた。全 10 種
からお選びいただけます

オーガニックコットン 風呂敷ギフトセット

全 2 色 各 ¥4,620
風呂敷を簡単にサブバック
に变身できるアイテム「風
呂敷パッチン」付。オリジ
ナルギフト BOX 入



選べる扇子ギフトセット

全 15 種 各 ¥7,480 ~ ¥9,680
残暑厳しい初秋にピッタリ。お好
きな扇子と扇子袋 (全 5 色) を組
み合わせていただけます。
宮脇賣扇庵謹製



〈魯山人 GONOMI〉 色あわせ かやお台ふき 3 枚 ギフトセット

組合せ 5 種 各 ¥3,410
魯山人が食を彩る器として愛したやきも
のを、色あわせで表現した〈色あわせ か
やしシリーズ〉から、人気の〈お台ふき〉
3 色 3 枚を組合せたギフトセットです。
サイズ：29.0 × 25.0cm かや 8 重仕上げ



手ぬぐい

全 3 種 各 ¥1,320
気軽にマルチに使用して何枚
あっても嬉しい

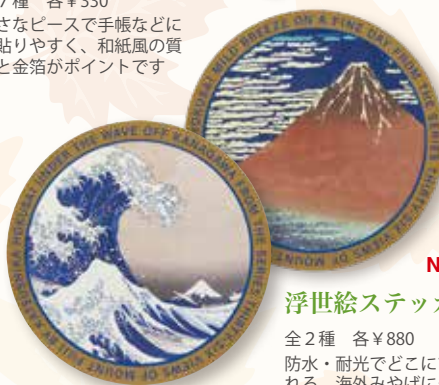
そば猪口・小皿

そば猪口：全 2 種 各 ¥1,540
小皿：全 2 種 各 ¥1,320
愉快な動物たちと一緒に食
卓を楽しむ団樂のひととき
波佐見焼 (磁器製)



浮世絵ステッカー

全 2 種 各 ¥880
防水・耐光でどこにでも貼
れる。海外みやげにも最適



NEW

浮世絵ステッカー

全 2 種 各 ¥880
防水・耐光でどこにでも貼
れる。海外みやげにも最適



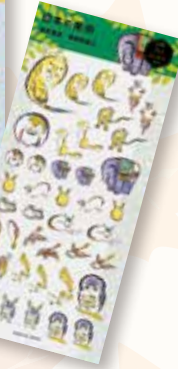
気取らず感謝を伝えるプチギフト

アートの好きな
あの人に

NEW 葛飾北斎〈富嶽三十六景〉



NEW 鍛形憲斎〈鳥獣略画式〉



アートシール

全 7 種 各 ¥330
小さなピースで手帳などに
も貼りやすく、和紙風の質
感と金箔がポイントです

便利堂の年賀はがき

ただいま早期割引受付中！

早期割引①

9月30日までのご予約で定価より
1枚110円 ↓ 5% OFF
10枚セット ↓ 20% OFF

早期割引②

10月1日〜11月30日までは定価より
10枚セット ↓ 15% OFF
※12月1日以降は定価販売のみとなります。

■定価 1 枚：110 円
10 枚セット：990 円



ご予約・ご購入は
こちら



復刻 年賀はがき

タテ 15.0 cm
ヨコ 10.5 cm

5《おもちゃ千種 第8集から でんでん太鼓、
大宰府の羽子板、おしゃぶり》川崎巨泉
6《福助》
7《布袋の書初め》
8《梅と青海波》
9《富士と松》

タテ 14.0 cm
ヨコ 9.0 cm

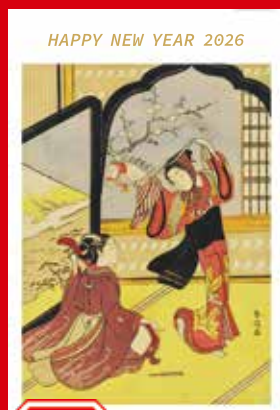


9



6

NEW



2

美術 千支年賀

タテ 14.8 cm
ヨコ 10.0 cm

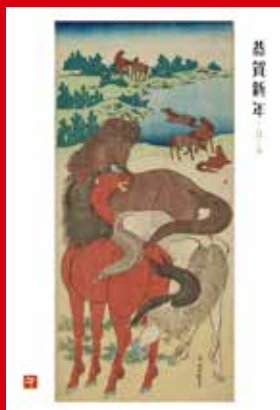
1《牧馬》葛飾北斎 東京国立博物館
2《春駒を舞う二美人》鈴木春信 東京国立博物館
3《「図案百種」より 鶴に松竹梅》国会図書館 NDL コレクション
4《「川瀬巴水版画集」より 山中湖の暁》川瀬巴水
国会図書館 NDL コレクション

美術 年賀はがき



5

NEW



1



3



4



7



8

は京都

全20はん 各一三二〇円

京都便利堂が京都在住のアーティスト、ツペラツペラとコラボレーションした新しいカードシリーズ。「京都のさまざまなものをモチーフにツペラツペラが描き下ろしたイラストを便利堂独自のカラーコトタイプ技術でプリントした「贈っても、使っても、飾っても」楽しい京都みやげの新定番です。〈京都はん〉の「はん」は〈版画〉と京ことばの敬称「はん」を掛けています。

京都便利堂 × tupera tupera

photo: Shingo Mitsuno



tupera tupera
亀山達矢さんと中川敦子さんによるユニット。絵本やイラストレーションをはじめ、TVや舞台、空間のアートディレクションなど、様々な分野で幅広く活動している。絵本『しろくまのパンツ』『パンダ銭湯』など著書多数。NHK Eテレ「ノージーのひらめき工房」のアートディレクションも担当。



便利堂本店では全種、公式オンラインでは〈舞妓はん〉〈京都タワーはん〉の2種が購入いただけます。

「贈っても、使っても、飾っても」楽しい京都みやげの新定番

市内20か所のサテライトショップで各1種の〈京都はん〉を販売中

〈京都はん〉まち歩きMAPで京都めぐりをしよう！



美術はがきソムリエの私たちが自信を持って選びました！

現在3コースをご用意。お好みをお選びください！



増尾麻黄(ますお・あさぎ)
京都便利堂直営ショップスーパーバイザー。絵はがきを通して堅苦しいイメージがある美術品や美術の世界を身近に感じてもらえると嬉しいます。

〈美術はがき定期便〉は、私たちが毎月テーマを決めて、それにピッタリな絵はがきを選んで、お得なセット価格で皆さまにお届けする趣向です。

絵はがきを使う派、コレクション派、飾る派はもちろん、美術には興味があるけど詳しくない、という方にも、ちょっとした「学び直し」の機会になればいいと思います。

税込、送料込。
いつでも解約できます！



安野美奈子(やすの・みなこ)
京都便利堂本店店長。ご来店の際は、店頭にはない絵はがきもご提案させていただきます。お気軽にご相談ください。

便利堂の絵はがきは千種を超えますから、自分で選ばないような、思いがけないものが届く楽しみもありますね。

お届けした絵はがきをきっかけに「今度は本物を見に行こう」と旅が始まるかもしれない。この定期便がそんな出会いの機会になれば素敵です。

※定期便各コースはすべて異なる商品を収録しています。
※内容は予告なく変更になる場合があります。

●毎月のお届け内容：コロタイプ絵はがき〈季趣五題〉を含む絵はがき 10 枚+特製ブックレット



●特典が盛りだくさん

もれなく、11月に〈わたしだけの絵はがきカレンダー 2026〉(定価300円)、最終お届け月に、絵はがき全120枚が収納できる〈定期便特製コレクションボックス〉をプレゼント

さらに一括払いでのお申し込みの方に〈ワイヤー絵はがき立て〉(629円)をプレゼント(先着100名様)

毎月1回
全12回
1年コース

毎月ふみの日に届く

「美術はがき」のある暮らし

美術はがきソムリエからの

定期便

※途中解約はいつでも可能です。
月々の都度払いはクレジットのみとなります。
くわしくは専用サイトをご確認ください。



●毎月のお届け内容：絵はがき 8 枚+特製ブックレット



●特典が盛りだくさん

もれなく、初回お届け月にオリジナル〈浮世絵年表・用語集〉、最終お届け月に、絵はがきが収納にピッタリ〈浮世絵 A5 変形クリアファイル〉(定価385円)をプレゼント

さらに一括払いでのお申し込みの方に〈プッシュピン式絵はがき立て〉をプレゼント(先着100名様)

通常合計価格 1,180円 / 7,080円のところ

都度払い 1,000円 / 一括払い 6,000円

■半年間 6,000円：月々 1,000円(税・送料込) × 6ヶ月

●ラインナップ

- 1/7月 〈美人画クロニクル ～春信、歌麿から英泉へ～〉
- 2/8月 〈北斎と広重 ～200年前の日本の風景〉
- 3/9月 〈掌の芸術 ～摺物と版本の魅力～〉
- 4/10月 〈幕末から明治へ ～国芳・晩斎・芳年と新版画～〉
- 5/11月 〈ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界〉
- 6/12月 〈歌麿と写楽 ～仕掛け人・葛屋重三郎～〉

毎月1回
全6回
半年コース

●毎月のお届け内容：長型はがき(6回計14枚)を含む 絵はがき 8 枚+特製ブックレット



●特典が盛りだくさん

もれなく、初回お届け月にオリジナル〈琳派年表・用語集〉、最終お届け月に、「抗ウィルス」「抗菌」「消臭」機能がある〈琳派柄 PHONE STICHER〉(定価385円)をプレゼント

さらに一括払いでのお申し込みの方にオリジナル文香(非売品)をプレゼント(先着100名様)

琳派—継承の美

琳派だけの深掘り半年プラン

毎月1回
全6回
半年コース

通常合計価格(平均) 1,273円 / 7,640円のところ

都度払い 1,000円 / 一括払い 6,000円

■半年間 6,000円：月々 1,000円(税・送料込) × 6ヶ月

●ラインナップ

- 1/7月 〈受け継がれる意匠 ～金と色彩～〉
- 2/8月 〈琳派の源流 ～本阿弥光悦と俵屋宗達～〉
- 3/9月 〈琳派の水墨 ～墨と筆の表現～〉
- 4/10月 〈花ひらく琳派 ～尾形光琳と乾山〉
- 5/11月 〈受け継がれる意匠 ～草花図—変奏の系譜—〉
- 6/12月 〈江戸琳派 ～酒井抱一と鈴木其一～〉



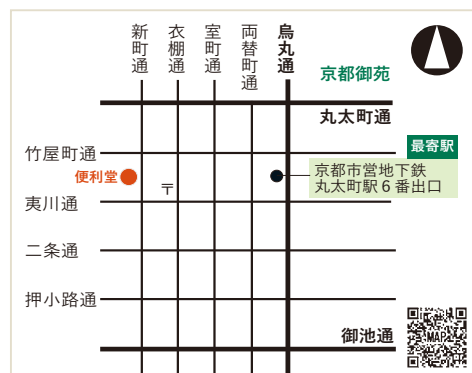
京都便利堂本店

〈時代祭はん〉はじめ、〈京都はん〉勢ぞろいでお待ちしております。

便利堂本社 1F には、美術商品を取り揃えた
京都便利堂本店を開設しております。ぜひ京
都にお越しの際はお立ち寄りください。

【営業時間】 10:00 ~ 19:00
【定休日】 日・祝日
【Telephone】 075-231-4351 (代表)

Instagram@kyoto.benrido
X@kyotobenrido
facebook@kyotobenrido.shop



【アクセス】

〒604-0093
京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町 302 番地

〈公共交通機関でお越しの方〉

- ・市営地下鉄烏丸線「丸太町」下車 ⑥番出口より徒歩 7 分
- ・市バス 「文化庁前・府庁前」下車徒歩 5 分



〈お車・タクシーでお越しの方〉

- ・京都駅から 15 分、お客様駐車場あります。
- ・タクシードライバーに「新町通り夷川(えびすがわ)上がる」とお伝えください。

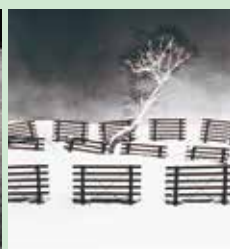
コロタイプギャラリー

便利堂コロタイプギャラリー〈夏秋季〉企画展示

① マイケル・ケンナ展 ② 「京都はん」のできるまで展 ③ 法隆寺金堂壁画複製展

京都便利堂本店がある便利堂本社には、〈コロタイプギャラリー〉が併設されています。今年の夏秋季企画展は、3 つの展
示を行います。特に現在開催中の《法隆寺金堂壁画原寸大複製》展では、全 12 面の壁画複製が一堂に展覧されます。

〈北海道・四国 ― ポートフォリオより〉 ① ギャラリー-1
Michael Kenna (マイケル・ケンナ)



tupera tupera × 便利堂 ② ギャラリー-1
〈「京都はん」のできるまで〉展



金堂壁画原寸大撮影 90 周年記念 ③ ギャラリー-2
〈法隆寺金堂壁画原寸大複製全 12 面〉展



会期：① 2025 年 7 月 14 日 (月) ~ 9 月 27 日 (土) / ② 10 月 3 日 (金) ~ 11 月 8 日 (土)

会期：2025 年 6 月 16 日 (月) ~ 11 月 8 日 (土)

開廊：10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00 休廊：日・祝日 (10/26, 11/2・3 は開廊) 入場：無料